

2021年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年9月1日

上場会社名 株式会社ダイサン 上場取引所 東
 コード番号 4750 URL http://www.daisan-g.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤田 武敏
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室 室長 (氏名) 多留 健二 TEL 06-6243-6341
 四半期報告書提出予定日 2020年9月1日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年4月期第1四半期の連結業績（2020年4月21日～2020年7月20日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年4月期第1四半期	1,930	△16.7	△244	ー	△176	ー	△165	ー
2020年4月期第1四半期	2,316	ー	△54	ー	△51	ー	△79	ー

(注) 包括利益 2021年4月期第1四半期 △223百万円 (ー%) 2020年4月期第1四半期 △97百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年4月期第1四半期	△25.84	ー
2020年4月期第1四半期	△12.38	ー

(注) 2020年4月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2020年4月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年4月期第1四半期	9,833	6,556	66.0	1,011.67
2020年4月期	10,397	7,012	66.0	1,070.83

(参考) 自己資本 2021年4月期第1四半期 6,487百万円 2020年4月期 6,867百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年4月期	ー	13.00	ー	13.00	26.00
2021年4月期	ー	ー	ー	ー	ー
2021年4月期(予想)	ー	ー	ー	ー	ー

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2021年4月期の配当予想について、現時点では業績を予想することが困難であることから、未定としています。

3. 2021年4月期の連結業績予想（2020年4月21日～2021年4月20日）

2021年4月期の連結業績予想について、新型コロナウイルス感染症の影響により現時点では合理的に算定することが困難であるため、未定としています。今後、開示が可能となった時点で速やかに開示します。

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規一社（社名）－、除外一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年4月期1Q	7,618,000株	2020年4月期	7,618,000株
② 期末自己株式数	2021年4月期1Q	1,205,112株	2020年4月期	1,205,111株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年4月期1Q	6,412,889株	2020年4月期1Q	6,412,889株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、多くの活動が制約・自粛されたことから、個人消費や企業活動に対して多大な影響を与え、景気が悪化いたしました。

当社に関連の深い住宅業界について、新設住宅着工戸数は利用関係別で持家、貸家、分譲ともに前年を下回り、全体でも前年同期比でマイナスとなりました。

こうした状況において、当社グループでは当連結会計年度を最終年度とする中期経営計画を立ち上げ、既存事業の効率化と資源の有効活用および国内における労働集約型ビジネスモデルの脱却を目的とした新たな市場の開拓と新規事業の展開を進めております。

また、新型コロナウイルス感染症に対する当社の全社的な対応としては、2020年3月より感染拡大防止策として進めているマスク着用、手指のアルコール消毒、検温、本社・支店スタッフのテレワーク勤務、時差出勤など感染防止への努めを継続するほか、受注量の減少による事業活動の縮小に対しては、全てのスタッフを対象に一部の稼働日を休業し休業手当を100%支給するとともに、雇用調整助成金の助成を受けております。

なお、2020年8月3日に公正取引委員会より請負契約の施工スタッフに対する消費税の転嫁不足に対する勧告を受け、2014年4月以降の支払い対価の不足額49百万円を特別損失として計上しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,930百万円(前年同期比16.7%減)、営業損失244百万円(前年同半期は営業損失54百万円)、経常損失176百万円(前年同期は経常損失51百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失165百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失79百万円)となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

①施工サービス事業

施工サービス事業につきましては、既存顧客を中心に、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための工事中断や営業活動の自粛の影響により、受注が減少いたしました。

そのような中、販路拡大のために地場のリフォーム会社や工務店などの新規顧客を増やすべく営業活動を促進し、戸建住宅と比べ受注量が安定している中層大型建築物向け足場施工の取引高を増やすために営業担当者を増やすなど、受注確保に注力いたしました。また、前期より進めております請負契約の施工スタッフの社員化を促すとともに、営業担当者による現場調査のIT化、WEB会議システムを利用した社内業務の効率化など、将来を見据えた仕組みづくりに取り組みました。

以上の結果、売上高は1,492百万円(前年同期比16.3%減)、売上総利益は350百万円(同40.3%減)となりました。

②製商品販売事業

製商品販売事業につきましては、新型コロナウイルス感染症による市況の悪化を受け、景気の先行きに対する不透明さから足場部材の買い控えが続き、主要顧客を中心に取引額は大きく減少いたしました。

そのような中、中層大型建築物向けに安全性を高めた新製品「レボルト®」に対する今後の需要拡大と施工サービス事業への社内投入を目論み、生産工程の稼働率を最大限にまで高め、在庫の確保を進めました。そのほか、現場消耗品のため安定した需要が見込める工事用メッシュシートについて、販売強化と商品調達先を海外に切り替え、仕入れ原価低減を図ることで、利益確保に努めました。

以上の結果、売上高は186百万円(前年同期比43.0%減)、売上総利益は45百万円(同41.4%減)となりました。

③海外事業

海外事業につきましては、在外子会社のあるシンガポールでは、2月より政府による新型コロナウイルス感染症の拡大防止の規制が順次なされ、4月のサーキットブレーカー実施により、重要産業を除く事業所の大半が閉鎖されるなど、国内経済が停滞する事態になりました。

このような中、子会社においては、新たな足場施工のための事業拠点を開設し、レンタル用の足場部材の投入を進めておりましたが、新型コロナウイルス感染症による政府規制により、受注していた各種工事が停止するなど、大きな影響を受けました。しかしながら、多くの同業他社が稼働停止となる中、子会社では、ごみ処理プラントや廃棄物リサイクルプラントの運営管理のための人材派遣とオフィスの清掃事業などが政府による重要産業と認定されたため、最低限の売上高を確保するとともに、政府の各種助成が期間限定ではあるものの、原価および費用の低減に繋がりました。

以上の結果、売上高は232百万円(前年同期比24.9%増)、売上総利益は51百万円(同27.1%増)となりました。

なお、前第1四半期連結累計期間は、子会社化の時期の関係上、連結対象となる月数は2ヵ月間となります。

④その他

その他につきましては、業務受託料および保険代理店収入等で構成されており、売上高は18百万円（前年同期比5.9%減）、売上総利益は12百万円（同2.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金の減少381百万円、受取手形及び売掛金の減少267百万円、賃貸用仮設材の増加78百万円等により前連結会計年度末に比べ563百万円減少の9,833百万円となりました。

負債は、短期借入金の増加145百万円、未払法人税等の減少32百万円、賞与引当金の減少46百万円、その他流動負債に含まれる前受金の減少66百万円、長期借入金の減少73百万円等により前連結会計年度末に比べ108百万円減少の3,277百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ455百万円減少の6,556百万円となり、自己資本比率は66.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年4月期の連結業績予想に関する事項につきましては、現段階で合理的に算出することは困難であるため、未定としておりますが、今後、合理的に算定することが可能になった時点で速やかに開示いたします。

なお、今後の見込みと致しましては、国内外ともに新型コロナウイルス感染症による経済への影響が続くものと考えられ、当社に関連の深い住宅業界については、景気の悪化に対する消費マインドの冷え込みが想定されることから、新設住宅着工やリフォームに対する影響は不透明と考えられます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年4月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年7月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,089,867	1,708,096
受取手形及び売掛金	1,798,086	1,530,603
電子記録債権	99,351	79,432
たな卸資産	868,144	915,287
貸貸用仮設材	473,981	552,039
その他	76,722	85,940
貸倒引当金	△24,256	△22,729
流動資産合計	5,381,897	4,848,668
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,656,757	1,656,757
その他(純額)	982,732	945,231
有形固定資産合計	2,639,489	2,601,988
無形固定資産		
のれん	667,079	620,826
その他	129,963	124,978
無形固定資産合計	797,042	745,805
投資その他の資産		
その他	1,582,552	1,644,045
貸倒引当金	△3,467	△6,721
投資その他の資産合計	1,579,084	1,637,324
固定資産合計	5,015,617	4,985,118
資産合計	10,397,514	9,833,787
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	401,203	396,243
電子記録債務	233,108	222,589
短期借入金	102,954	248,427
未払法人税等	44,910	12,416
賞与引当金	168,015	121,716
その他	1,114,124	1,025,567
流動負債合計	2,064,318	2,026,960
固定負債		
長期借入金	1,100,165	1,026,931
資産除去債務	82,987	84,239
その他	137,930	139,105
固定負債合計	1,321,083	1,250,276
負債合計	3,385,401	3,277,237

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年4月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年7月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	566,760	566,760
資本剰余金	649,860	569,954
利益剰余金	6,519,170	6,270,074
自己株式	△918,982	△918,983
株主資本合計	6,816,808	6,487,805
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	61,677	77,477
為替換算調整勘定	△11,352	△77,568
その他の包括利益累計額合計	50,324	△90
非支配株主持分	144,979	68,834
純資産合計	7,012,112	6,556,549
負債純資産合計	10,397,514	9,833,787

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月21日 至 2019年7月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月21日 至 2020年7月20日)
売上高	2,316,251	1,930,086
売上原価	1,597,889	1,470,029
売上総利益	718,361	460,056
販売費及び一般管理費	772,403	704,679
営業損失(△)	△54,042	△244,623
営業外収益		
受取利息	128	502
受取配当金	1,546	1,437
助成金収入	—	59,349
その他	5,490	15,667
営業外収益合計	7,165	76,956
営業外費用		
支払利息	2,920	3,465
減価償却費	372	2,493
その他	1,120	2,666
営業外費用合計	4,413	8,625
経常損失(△)	△51,289	△176,291
特別利益		
受取保険金	—	647
特別利益合計	—	647
特別損失		
固定資産除却損	0	780
消費税転嫁対策特措法関連損失	—	49,927
特別損失合計	0	50,707
税金等調整前四半期純損失(△)	△51,289	△226,352
法人税、住民税及び事業税	6,455	5,650
法人税等調整額	22,811	△67,069
法人税等合計	29,266	△61,419
四半期純損失(△)	△80,556	△164,932
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,174	795
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△79,381	△165,728

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月21日 至 2019年7月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月21日 至 2020年7月20日)
四半期純損失(△)	△80,556	△164,932
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,271	15,800
為替換算調整勘定	△23,570	△74,321
その他の包括利益合計	△17,299	△58,520
四半期包括利益	△97,856	△223,453
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△91,889	△216,143
非支配株主に係る四半期包括利益	△5,966	△7,309

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年5月11日付で、連結子会社であるMirador Building Contractor Pte. Ltd.の株式を追加取得いたしました。この結果、当第1四半期連結累計期間において資本剰余金が79,905千円減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月21日 至2019年7月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	合計
	施工 サービス事業	製商品 販売事業	海外事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,782,722	328,001	186,215	2,296,938	19,312	2,316,251
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,782,722	328,001	186,215	2,296,938	19,312	2,316,251
セグメント利益	586,609	78,054	40,474	705,137	13,223	718,361

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、業務受託料および保険代理店収入等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「海外事業」セグメントにおいて、当第1四半期連結会計期間に、Mirador Building Contractor Pte. Ltd.の株式を取得し連結子会社化したことに伴い、のれんが643,404千円増加しております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月21日 至2020年7月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	合計
	施工 サービス事業	製商品 販売事業	海外事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,492,436	186,913	232,559	1,911,908	18,176	1,930,086
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,492,436	186,913	232,559	1,911,908	18,176	1,930,086
セグメント利益	350,032	45,722	51,431	447,185	12,870	460,056

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、業務受託料および保険代理店収入等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)
該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。